



わだい

宮川副市長に目録を手渡す高木氏（右）

3 中学校にグランドピアノ寄贈

元教員の高木タカ子氏

市内中学校などの教員を永年務めた高木タカ子氏(分1区)が、市内3中学校にそれぞれグランドピアノを寄贈し8月26日、市役所で目録が贈呈されました。

高木氏は、昭和25年に阿蘇高校に赴任以来、阿蘇郡市の中学校に勤務し昭和57年に退職。夫の故精一氏も教員として阿蘇高校などに永年勤務しており、今回の寄贈は、両氏による地元への教育振興に役立ちたいという思いから行われたものです。

今後は、ピアノの活用により、豊かな情緒が育まれるものと期待されます。

5 9日間の火焚き始まる

霜神社で火焚き神事



わだい

ご神体に火を灯す
愛華さんと介添えの
紀久代さん

国指定重要無形民俗文化財「阿蘇の農耕祭事」の一つ火焚き神事が8月19日に始まり、霜神社で乙女入り神事が行われました。

農作物を霜の被害から守り豊作を祈るこの祭事は、建磐龍命の家来「鬼八」の恨みを鎮めるために始められたとされ、祀られたご神体を、乙女揚げの10月16日まで温め続けます。

ことしの火焚き乙女を務める森愛華さん(阿蘇小3年)が、介添えの祖母紀久代さん(下役犬原)とともに、火焚き小屋でご神体に火を灯し、59日間の火焚きが始まりました。



わだい

子どもを抱っこする生徒

交流通じて子育てを学ぶ

阿蘇中央高校でふれあい体験授業

阿蘇中央高校で9月2日、「高校生と乳幼児のふれあい体験授業」が行われ、生徒27名と一の宮子育て支援センターを利用する母子13組が交流を楽しみました。

乳幼児や子育て中のお母さんとのふれあいを通して、子育てへの理解を深めようと企画されたもので、生徒は子育てに関する疑問や子育てで嬉しかったことなどを次々に質問しました。

「子育ての毎日の楽しみは？」の問いに、母親は「子どもが少しずつできることが増え、日々の成長を見ることが何よりも楽しみ」と笑顔で応えていました。

道路脇の花々、鮮やかに

跡ヶ瀬「野菊の会」が国土交通大臣表彰

跡ヶ瀬区で奉仕活動に取り組む野菊の会（上島博喜代表、6名）が、国土交通大臣表彰を受賞し8月20日、熊本県庁で伝達式が行われました。

国土交通省が主催する8月の「道路ふれあい月間」にちなみ、道路愛護などに関し功績がある団体などを表彰しているもので、県内では3団体が表彰されました。

同会は結成から10年目を迎え、県道河陰阿蘇線沿いの植栽や清掃活動を日頃から行っており、きれいな景観が保たれています。

表彰



市役所に受賞報告に訪れた野菊の会の皆さん

わだい



稲穂が実る田園の中を歩く参加者

秋の風感じ阿蘇路楽しむ

第5回大阿蘇元気ウォーク 2015

第5回大阿蘇元気ウォークが9月5日・6日に阿蘇神社をスタート・ゴールに開かれ、両日合わせて約1400人が参加しました。

北外輪山の草原を歩くスペシャルコースやプロカメラマンと歩くフォトコースなど、全8コースを設定。各エイドステーションには市内各店の自慢のスイーツや流しそうめんなど、豊富なメニューが並びました。

「充実したエイドステーションの食事がいつも楽しみ」という方もおり、参加者は思い思いに初秋の阿蘇路を楽しみました。

夏目漱石ゆかりの宿で「二百十日祭」

来年は『漱石来熊 120年』

夏目漱石が宿泊した宿「山王閣（内牧）」で9月1日、五穀豊穡や安全を祈願する二百十日祭が行われました。

小説「二百十日」は、1899年（明治32年）、夏目漱石が友人と内牧温泉や阿蘇登山を兼ねたことが盛り込まれた漱石の名作として知られています。

祭では、詩吟の吟王流の皆さんが書道吟や、小説に登場する山王閣（当時養神館）でのやりとりを寸劇で披露。漱石役や女中役の名演技が会場を沸かせました。

わだい



小説「二百十日」の寸劇のようす

わだい



自らデザインしたラッピングカーを説明する宇藤くん。



電気自動車にオリジナルデザイン

坂梨小、最後の運動会でお披露目

坂梨小学校の児童がデザインした電気自動車(超小型モビリティ)のラッピングカーのお披露目が9月5日、同校の運動会で行われました。

熊本県や本田技研工業などが行う電気自動車活用の実証実験の一環で企画されたもので、宇藤豊太くん(6年)の案が採用。青空に映える阿蘇山とトンボやカブトムシが描かれた可愛らしいデザインが特徴です。

今秋には、同校のほか来年3月に閉校を迎える宮地、古城尾ヶ石東部小の全4校で最後の運動会が行われました。

長旅の疲れを癒して!

阿蘇ロータリークラブが子どもたちを支援

大分から熊本を横断する「参勤交代九州横断徒歩の旅」の参加者を激励しようと8月19日、阿蘇ロータリークラブ(笹原博明会長、32名)が今町神社でかき氷を振る舞いました。

同クラブでは、これまで滝室坂を通る参勤交代道の除草作業を行うなどイベントに協力。3年前の北部豪雨災害以降、同箇所が通行できず支援ができないことから、子どもたちを直接激励したいと企画されたものです。

長旅で疲れた子どもたちは、それぞれにかき氷を口にし、疲れを癒し歩き続けました。

わだい



かき氷を手にする子どもたち

わだい



収穫後、満足したようすの園児たち(後段中央が石田さん)

甘くて美味しいブドウ狩り

古城保育園の園児が収穫体験

古城保育園の園児26名が9月10日、中通のブドウ畑でブドウ狩り体験を行いました。

石田武さん(上西河原)が、収穫を楽しんでもらおうと招待したもので、8月上旬にはイラストと名前が書かれた保護袋を掛ける「袋かけ作業」を実施。この日、大きく実った巨峰を思い思いに収穫しました。

味見をした園児は「甘くて美味しい!」と大絶賛。「家に帰ってみんなで食べる」と喜んでいました。17日にはあそひかり幼稚園の園児も、収穫体験を楽しみました。